

## 会議録

会議の名称	西東京市地域情報化計画策定審議会（第2回）
開催日時	平成24年11月29日（木曜日）午後1時00分から2時45分まで
開催場所	田無庁舎5階501会議室
出席者	委員：池田佳代委員、石田朋子委員、小林清澄会長、浜昱子委員、樋口信太郎委員、福田豊委員、渡邊博子副会長（50音順）（欠席：石川家継委員） 事務局：佐藤情報政策専門員、渡部情報推進課長、河野情報推進係長、金本情報推進課主任、高枝情報推進課主事
議題	(1) 西東京市の現状について ア 第1期地域情報化基本計画から第2期地域情報化基本計画までの概要 イ 総合計画の基本方針及び総合計画策定審議会等スケジュール（予定）について (2) 国の情報化の現状について (3) 他自治体の情報化計画と総合計画の関係について
会議資料の名称	(添付資料参照) 資料1 第1回西東京市地域情報化計画策定審議会会議録 資料2 第1期西東京市地域情報化基本計画 資料3 第1期から第2期までの西東京市地域情報化基本計画の概要 資料4 総合計画策定審議会等スケジュール（予定） 資料5 平成24年度版情報通信白書（第4章情報通信の現況第3節インターネットの利用動向） 資料6 平成24年度版情報通信白書（第5章情報通信政策の動向第5節行政情報化の推進） 資料7 電子行政推進に関する基本方針 資料8 新たな情報通信技術戦略工程表（改訂版） 抜粋 資料9 電子行政オープンデータ戦略 資料10 三鷹市地域情報化プラン2022 抜粋 資料11 藤沢市IT推進指針 抜粋 資料12 練馬区情報化基本計画（平成22～26年度） 抜粋
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	

## 1 開会

○小林会長：

定刻となりましたので、ただいまから、第2回西東京市地域情報化計画策定審議会を始めます。本日は、石川委員が都合により欠席されるとの連絡を受けています。

前回都合により欠席された渡邊副会長と福田委員が出席されましたので、お二人には簡単な挨拶と自己紹介をお願いします。

(委員挨拶)

(委員挨拶)

○小林会長：

まず、第1回会議録の承認についてですが、事前に各委員へメールで送付し、確認してもらっていることと思います。訂正があった箇所の内容を反映したものが、資料1の第1回会議録です。訂正等がなければ確定版としますが、何かありますか。

(訂正なし)

意見等がないようなので、第1回会議録について、承認します。

それでは、事務局から本日の資料の説明をお願いします。

○事務局：

(配布資料について説明)

○小林会長：

西東京市の現状について、議題1 (1) ア「第1期から第2期までの西東京市地域情報化基本計画の概要」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：

(議題1 (1) ア「第1期から第2期までの西東京市地域情報化基本計画の概要」について説明)

○小林会長：

事務局から説明のあった内容について、何か質問、意見等がありましたらお願いします。

○浜委員：

総合計画の基本構想で4つの理想のまち、6つの方向性があり、その流れに沿った形で地域情報化計画が策定されているとのことですが、今回の計画も総合計画の流れと一致させていくことになるのでしょうか。

○事務局：

総合計画の基本構想を横串で支える計画としていきたいと考えています。

○石田委員：

資料3の地域情報化の策定期間と総合計画の策定期間の年度表記については、同じ表現にした方がよいと思います。

○事務局：

次回から統一するようにします。

○渡邊副会長：

第1期、第2期の地域情報化基本計画のタイトルと副題について、第3期の計画でも引き継いでいくのでしょうか。

タイトルの「こころポリシティ西東京」は、地域情報化をよく体現したものだと思いますが、副題の「新しいかたちのコミュニケーション社会の創出」にある「創出」という言葉については、地域情報化のスタートから10年間経った第3期の計画では、創出の段階を超えていくものであってもよいのではないのでしょうか。

○事務局：

タイトルについては、当時大学生から提案いただいたもので、第3期においても審議会で検討をいただき継承していければと考えています。

副題については、次の段階を見据えていければと考えており、今回の審議会で議論いただきたいと考えています。

○渡邊副会長：

「こころポリシティ西東京」の市民への浸透度は、どの程度のものなのでしょうか。

○事務局：

タイトルの浸透度を把握することは難しいですが、最近では、ICTを使うことが一般的になってきていることから、計画で掲げた内容的な部分は、ある程度実現できていると考えております。

○小林会長：

次に、議題（1）イ「総合計画の基本方針及び総合計画策定審議会等スケジュール」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：

（資料4『総合計画の基本方針と総合計画の審議スケジュール』について説明、併せて総合計画の概略について説明）

○小林会長：

地域情報化計画と総合計画の進捗が同じペースになっていますが、地域情報化計画との連携については、どのように時期を合わせていくのでしょうか。

○事務局：

総合計画の策定に当たりまして、庁内検討委員会を立ち上げており、スケジュール等については、事務局でも把握し、連携を取っていきたくと考えています。

○小林会長：

総合計画も内部の検討組織があるのでしょうか。それとも外部の機関などで議論されているのでしょうか。

○事務局：

総合計画についても策定審議会を設けて、現在審議を行っているところです。

○小林会長：

議題（2）「国の情報化の現状」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：

（議題（2）「国の情報化の現状」について、説明）

○浜委員：

資料5の319ページの図で、オンライン化の状況が平成20年度から急激に下がっていますが、これはなぜなのでしょう。

○事務局：

当初オンライン化した手続等について、国では手続の利用が少ないものについて、費用対効果の検証から手続の廃止を含めた見直しを行った時期がありまして、そのことが、オンライン化手続きの減少要因であると思われ。

○浜委員：

市民のニーズが少ないところにコストをかけることは難しいかもしれませんが、いったん導入してしまえば、運用コストは、それほどかからないのではないのでしょうか。

○事務局：

システムの導入は、導入時に構築費がかかります。その後、システム保守や機器保守などの運用費とほぼ5年毎の入替えの際にもコストがかかるため、当初のコストだけではなく、全体的な費用として、かなりのコストがかかります。

○浜委員：

西東京市では、どのようなオンライン手続があるのでしょうか。この国の手続きのように利用の少ないシステムがあるのでしょうか。

○事務局：

オンライン化しているシステムとしては、都内自治体の共同で運営している電子申請や電子調達のサービスがあります。今年度は、健康診査などの電子申請で大きく手続数が伸びたところです。

○福田委員：

平成24年度情報通信白書には、第1章でICT経済構造などについて、第3章で大震災とICTに関する記載があり、また、毎年度に特集として、情報通信に関するトピックスがあり、今年度版は、スマートフォンなどの利活用について取り上げられていたので、新しいICTの技術的な内容を紹介していただくこともよいと思います。

また、今日の資料9にあったオープンデータについても注目しています。公共データとして行政が持っているビックデータをどのようにオープン化していくか、このことについても継続して検討すべき課題だと思えます。

○事務局：

近年の情報通信技術の動向につきましては、あらためて資料を用意させていただきます。

オープンデータにつきましては、行政の持っているデータをどのように利用していくのか、また民間との連携など、今後のマイナンバーなどの動向を踏まえて、これから考えていく必要がある分野だと考えております。

○小林会長：

ICTの技術動向などの傾向については、この場でも議論できるとよいと思います。オープンデータやその他の最近の話題があれば、紹介してもらいたいと思います。

総合計画でもこの審議会でのICTの状況など議論については、取り上げられているのでしょうか。

○事務局：

総合計画の事務局である企画政策課とも情報共有し、連携を図ってまいります。

○小林会長：

本日は、国の様々なデータを紹介してもらいましたが、西東京市の実態を表すようなデータや都内自治体との比較などが分かる資料があるといいと思います。

○事務局：

多摩26市でまとめた資料がありますので、ICTに関するものを抜粋して、資料を提供させていただきます。

○小林会長：

議題(3)「他自治体の情報化計画と総合計画の関係」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局：

(「他自治体の情報化計画と総合計画の関係」について、説明)

○池田委員：

本日紹介された近隣の三鷹市や練馬区などと、また他の自治体と何か情報連携はしていないのでしょうか。

○事務局：

東久留米市、清瀬市、東村山市、小平市、西東京市の5市で会議を開いている広域行政圏協議会というものがあり、情報分野の専門委員会等でシステムの共同化などの議論を行っています。

また、武蔵野市、小金井市、三鷹市、西東京市の4市による合同勉強会でも同様にシステムの共同化について議論しておりまして、現在、図書館システムを中心に議論を行っています。

そのほか、多摩市町村情報システム研究協議会で、年2回多摩26市のIT分野の会議が開催されています。

都内の自治体58団体で構成されている東京電子自治体共同運営協議会では、電子申請や電子調達の分野で共同化してサービスを実施しています。

○福田委員：

それらの会議には、情報部門のみ参加しているのでしょうか。議論された内容が、計画などに反映されるレベルの会議なのでしょうか。

○事務局：

ICTに関する会議は、情報部門の職員で構成されることが多いですが、4市の合同勉強会では、テーマが図書館システムを取り上げているため、図書館の職員と情報部門の職員が参加しています。

また、議論の結果、十分に効果として見込めるものは、施策に反映される可能性はあると思います。

○福田委員：

過去5年くらいの中で、全国で地域情報化についての計画がどの程度策定されているのか、資料があればいただけないでしょうか。

○事務局：

調査して、資料を準備いたします。

○福田委員：

本日紹介された自治体の情報化計画は、先進市の計画だということでありましたが、「高い評価」とはどのような指標によって評価されているのでしょうか。地元のコミュニティの活性化につながっているなど明確な成果指標があるのでしょうか。

○事務局：

本日紹介させていただいた他市の情報化計画につきましては、計画そのものの評価というよりは、ICTの分野で評価を得た自治体です。

○福田委員：

評価といっても、さまざまな指標があり、これらの計画をひな形にすべきなのかどうかの判断にもつながるので、どのような評価で上位だったのかを確認させてください。

い。

○事務局：

評価の項目といたしましては、庁内の情報化や市民サービス、セキュリティなどを点数化したランキングで高いものがございます。民間や大学等で行っていた自治体ランキングで高い評価を受けていたものですが、現在は、ランク付けをやめてしまっているものもあるようです。

○福田委員：

ランキングについては、回答者の答え方次第で評価が変わってくることもあるため、慎重に取り扱う必要があります。

○小林会長：

西東京市は、どの程度にランク付けされていたのでしょうか。

○事務局：

「e都市ランキング」というもので、一時期高い評価であったことがあります。

○渡邊副会長：

市としては、ICTの利活用が進んでいる中、地域情報化を策定したとき、効果を図る指針として考えているものはありますか。また、この計画でどのような成果を出していきたいと考えているのでしょうか。

○事務局：

難しい問題ではありますが、単純に電子化を進めることだけが成果を出すことではないと考えています。様々な要素とICTの融合が必要だと思いますのでこの審議会でも御議論いただければと考えています。

○情報政策専門員：

地域情報化基本計画は個別計画として、総合計画を支え、市のまちづくりにいかに貢献できるかがポイントとなると考えます。

○渡邊副会長：

市民の方が地域情報化の恩恵を享受できているかどうかをどのように把握することができるのかが大事だと思います。市民の方への実態調査などは行っているのでしょうか。

○事務局：

市の総合計画の策定作業で市民の方への実態調査を行っておりますが、ICT分野の細かい内容までは含まれておりません。

○渡邊副会長：

市の基本的な情報、たとえば高齢化率や産業構造などについて把握するため、説明を

していただけますか。

○事務局：

西東京市の基本的な状況については、次回資料として御用意いたします。

○浜委員：

現在、高齢者の見守りサービスをメールで実施していますが、パソコンの利用促進やインターネットアクセスが可能な環境を整備していくことや、インターネットで教室を開くなど教える場を設けるなど、子ども・大人・高齢者などがコミュニティを作っているような施策を計画に盛り込むことができるといいと思います。

西東京市の地域の中で必要とされることを計画に盛り込んでいくことは大切だと思います。

○小林会長：

現在進行している西東京市の地域情報化基本計画は、PDCAサイクルだとチェックからアクションの段階であるといえます。第1期計画の成果や、第2期計画の西東京市の現状など、何らかの報告をいただきたく思います。

○事務局：

本日いただいた要望や、第1期・第2期における市の計画の実現状況などについて、資料を作成します。

○福田委員：

西東京市は、**Facebook**を利用しているのでしょうか。

○事務局：

**Twitter**は、現在、秘書広報課が中心となり運用しています。

**Facebook**については、庁内で検討を行う予定です。また、**SNS**については、秘書広報課と情報推進課で連携をとって検討してまいります。

○福田委員：

動きがあったら情報提供をお願いします。

○小林会長：

今後の会議の進め方ですが、分量が多いなどの理由により当日配布となる資料については、「情報通信白書の〇ページ」といったアナウンスを事前にしていただければ、確認しておくことができるので御配慮いただけないでしょうか。

○事務局：

事前にお知らせできる資料については、事前に御案内いたします。

○渡邊副会長：

前回資料の中で、今後のスケジュールに市内視察が含まれていましたが、どのような

ところを視察するか決まっているのでしょうか。

○事務局：

視察先については、事務局でも検討を行っていますが、御希望がありましたらお伺いさせていただきますと思います。

○渡邊副会長：

審議の状況や進展により、どの分野を視察するか、候補が変わってくることもありうると思います。

○情報政策専門員：

視察は、福祉や自然、地域コミュニティなど、市の特異性や地域性が分かるところなどがいいと思います。

○小林会長：

次回以降の審議を経て、引き続き検討していくこととします。  
議題のその他として、何か連絡事項はありますか。

○事務局：

次回させていただく西東京市の財政状況について、企画部財政課から御説明させていただきます予定です。

なお、第3回の審議会の日程は、平成24年12月25日午後1時です。

○小林会長：

他になければ、本日の会議は、閉会とします。